（昭和25年7月9日 第三種郵便物認可）

夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210 印刷兼発行人 池田一夫

昭和28年3月16日（月曜日） 第831号 常磐毎日新聞 （一）

政界に吹く大旋風

總選擧で話題はづむ

松井から絶縁

内郷の町議選 ほんものそのまま激戦

白熱化した

意外な解散（常炭連）近く対策

優良運転手ら表彰

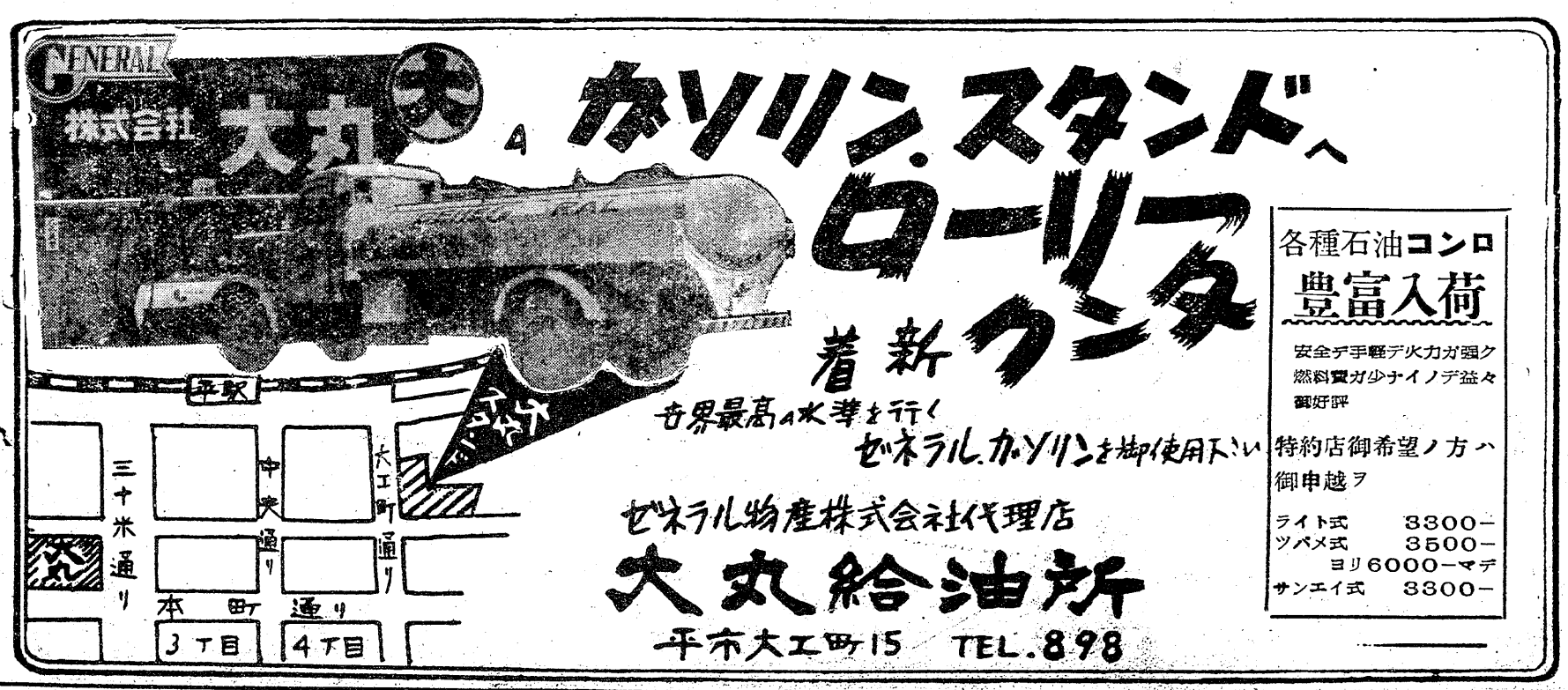
十七日総会の席上で

一名即死二名重傷

スピーデーの自動車と列車衝突

バチンコ屋で暴行

平商卒業生暴行



貯蓄のほまれ泉村
三つの表彰に村民大喜び

農家経済をたすけるため終戦后各町村単位に農業協同組合が県信連指導のもと誕生、農家経営の自主確立を始め村財政などに大きく寄与していまは農村地帯にはなくてはならぬ村民の福利機関となつているが、県農協信連ではさらに町村農協組合の財政確立を期するため、農村中央金庫福島出張所と共催で昨年三月から農協貯蓄二千億円運動を展開して来たが、この程二千億円を突破したので「農協貯蓄二千億円突破記念感謝大会」を開き運動に優秀な成績を収めた個人、組合を表彰した、石城郡泉村農協組合は第二回農協貯蓄吸収腕クラベで、個人賞A組には同農協参事吉田祐光氏が、優良婦人貯蓄組合には婦人会が農村中金福島出張所長賞をそれぐ授与されるなど一村で三つもの表彰を受け、一躍注目の的となつている。以下同村をおとずれ農協の貯蓄状況を始め個人団体の協力振りを聞いてみた……

農協貯蓄吸収腕クラベでAクラスに入賞した泉村農業協同組合（組合長志賀滝氏）　二月末日現在の貯蓄は、実に三千三百万円に達し県下でもその成績は一、二位のうちにかぞえられている、特に二十七年三月からの貯蓄成績は素晴らしく、当時二千二百万円だつた貯金総額は、二十八年二月末日までの一ケ年間に一千万円も増え貯蓄係も驚いていたと言う、同農協の貯蓄をこれまでに持ち上げ、表彰されるまでに到つた原因には

まず貯金払込み払出しの受付けを夜おそくまで、農家の人々と同じ気持で働き、年二回（農協組総会前の五月ころと供米この十月ころ）の部落座談会を開き貯蓄のことに関していろいろな批判を聞き、悪い点を反省好い点を進め「農家の貯金は農協へ」との啓もう運動が功を奏したためとみられる

また同組合内の貯金受付け設備も大いしたもので、村の郵便局顔負け、受付けには貯金係受付けとして事務三名のほか貯金係が六名と言う陣容を整え、貯金農協と大鼓判を押されただけある

また窓口にはかならず一八二八のお客さんがある、近く村が町制を施行するので村の金庫事務を四月一日から農協にうつすことが話合で決まり、四月から全村の貯蓄（郵便貯金をのぞく）は農協で取扱われる。貯蓄吸収腕クラベで入賞したのは、個人で表彰された同農協参事吉田祐光氏の献身的な行為と、独力と農林金庫福島出張所長賞をもらつた同村婦人会の協力も見逃がせない

喜びの吉田さん
夜遅くまで貯金事務

個人Aクラスに入賞した吉田祐光さんは同組合設立以来参事として勤務しているが設立当時の組合経営状態に痛感これを立ち直させなければならないと、立ち直らすにはまず増資、貯蓄による組合確立以外にはないと農家に対し率先して啓発宣伝に乗り出すと共に毎夜農民達が昼間の作業時間をつぶさなくてもすむように五時から七時（普通貯蓄受付けは四時まで）係が帰つたあとも自分一人で受付けるなど、夜は十時すぎまで帰つたことが　と言う献身的な行動に出て、これに感激した農家の人々が「貯金は農協の金庫に」と今では全農家が同組合を利用している

貯金で学校新築

また農村中金福島支店長賞をもらつた同村婦人会（会長高島ミデさんほか会員七百四　名）は、昭和二十四年ころ六、三制がしかれ中学校はそのまま小学校の一部をかりて校舎に当てゝいたが、なにかと都合が悪く校舎新築が痛感されているのをみた婦人会は「我々の力で子供達のために校舎を建てよう」とその際融資を受けられる農協組と話がまとまり、月掛貯金に全会員が参加二ケ年現在八十七万円（たゞし昨年はいつたん満期で百万円を返済している）がすでに積まれ、二十五年二月の中学校舎新築には協同組合から百七十万円の融資を受け、校舎新築費に当てるなど村当局や学校、PTAなどから感謝されている

（写真は吉田祐光氏）

期末手當（市職組要求）

平市役所職員組合総会は、十四日午後一時から公会堂日本間で開催永い間欠員となつていた副組合長書記長始め執行委員補充等を含めて任期繰上げによる役員の改選を行つた外

▽廿八年度予算審議
▽期末手当三割五分支給申入れについて
▽共済組合設立について
▽規約改正について
▽組識強化
▽青、婦人部結成について

等を協議した

委員会役員

委員長、金古政通、常任委員、鬮橋正次、大泉信雄、会川利一長谷川政、水竹伊之助ほか委員諸橋市長以下五十八名、事務局員、関場和一ほか十一名

石森山に櫻
市の緑の週間

春と共に今年も亦「緑の週間」がやつて来る。平市ではこれに備えて、「国土緑化平市推進委員会」を結成して次の役員を決定、四月十日から行われる緑のハネ運動に積極的に乗出し復興都市平の緑化を図ることとなつた

今年の緑のハネは、四月十日から十日間各種団体の協力を得て街頭に進出、平市だけで五万枚を消化し、その益金を以て

◇石森山に桜五百本
◇谷川瀬の競輪場附近に桜三百本
◇新川沿えにツツジ五百本
◇松ケ岡公園にツツジ三百本
◇その他各地遊園地に緑樹を移植

して平市を緑化しようと言う計画であるが、これに先だち四月四日市と地方事務所共催で県社に於いて植樹祭を行う計画とある

鵜沼教諭が自首
アゼンとされたその行状
酒と女で費消か

（昨報）大学受験志願者の受験料を拐帯逃走中の磐高教官鵜沼昂一（三〇）は、十四日午後五時半頃野々山校長、大石平市署刑事につきそわれて自首。身柄留置のまゝ熊谷探てい長係で取調べ中であるが横領の内容は、去る一日磐高卒業生中公私立大学受験志願者四十一名の、受験料総額七万五千円を拐帯、卒業式前後から行方をくらましていたもので、このほか大島旅行予備金六万円、高校野球部費二万円、同窓会入会費五千余円等で計三十万五千余円にのぼる巨額の横領容疑もあり、その乱脈ぶりに係官をあ然とさせている

鵜沼教官は名古屋高校を卒え昭和廿年磐高に奉職したもので、湯本町字三函の実家には、両親と妻子ら計六人家族で実父は湯本町役場に勤務し、生活に困るとは思われず、係官に対しては「パチンコなどで使いました」と言つている、相当酒ぐせも悪るく、お定まりの酒と女に消費したものの如く追及中であるが

最近磐高野球部を中心とする体育関係職員らの無軌道ぶりが世評のまとゝなつているので共謀者についても徹底的に取調べるといわれ成行が注目されている

学校当局談

「教育史上始めての不祥事で申訳ない、単なる横領事件などはまま聞くことだが、生徒の受験料を横領するとは、学校当局として申訳の仕ようもない、受験には幸い支障ないよう万全をつくした、残つている官立受験にも支障ないよう手をつくしているので受験不能の生徒はない、鵜沼教諭は六日辞表を提出したので受理した」

（写真は鵜沼教諭）

チャンガラ長野へ

四月廿三日から廿六日まで長野市で開かれる東日本民舞踊コンクールに福島県代表として平市の中山青年会のジャンガラ念払が参加する、一行三十余名は廿一日出発の予定

青少年に讀ませる万葉集 (6)

鈴木謙四郎

柿本人麿時代

新羅政伐の軍は博多の松ケ浦（中を船出して海峡をわたり、一路新羅に向いましたが、この折早くも新羅は唐の国（今の中華民国）に力をかり両国連合の軍で待ち構えていたところでしたから、我軍も容易に勝利を得ることが出来ませんでした、天皇は深くこれを御心痛あらせられたのです、何しろ急に朝倉神社の森を切り拓いて作られた御殿でしたから、何にかと水なども不便であつたのでしょうか、悪疫は流行し、果ては朝倉神社の神木を伐つた祟りであるとまで噂されました。御供の王子や家来たちも次々に死亡し、七月になつて御老体にあらせれた天皇もつに崩御されてしまつたのでした誠に天皇の御生涯を忍びまつれば争ー御病身であられた舒明天皇の皇后として、その誕生に何くれと心をくだかれ、続いて即位されるや女帝の御身をもつて、さきには大極殿裡玉座の下でぞ我氏討伐の大事が行われ血潮にまみれた入鹿は陛下の玉座にすがり誓つて罰の審判を請うたと伝えられます、事の次第を思召されなかつた陛下はどんなに驚き遊ばしたことでしょう、間もなく位を退かれました、しかし御弟君の孝徳天皇崩御の後は再び即位して新ら征伐の師を率い御高令な御婦人の御身をもつて築柴の果てに向われたのでした。しかも戦は利あらず将士の身の上と国の行末を案じ給いつゝ天皇は最後の息をひきとられたのです

私は斉明天皇の事をしのびまつる毎にとめどなく湧き出づる涙をおさえることが出来ません

中大兄皇子も痛く落胆されました

「君が目の恋しきからにとまり居て此や恋むも君が目を欲り」

こんなに思いがけなく早くお別れするのでしたら、もつと仮宮をしばく訪ねて、御母上と御会いしておくのであつたにと歎かれたのです、そして皇子は唐と講和して天皇の御遺がいを奉じて大和に帰葬されました

（筆者は湯本一小校長）

畜犬一般診療
一遠近に不拘往診いたします
御愛犬の飼育上の御相談に応じます
矢ヶ崎犬猫醫院
平市同鎌田　電（呼）一二七五番

仕出し 割烹 湖畔 電六三七

宣伝にサービスに 各入 うちわ よくて安くてスグ出来る 註文は さかいや T.485

ラジオ 月賦 六ケ月 十二ケ月 平二丁目 日東商会

市内唯一フラワ キャバレ
女性を求む
初めての方も歓迎
フラワ キャバレ 平市田町 電4

割烹 蒲焼 湖月 平 電一〇七三

急募（女給さん）若干名 本局前 小柳

生徒募集
公認 千草洋裁學院
本科 一カ年 二〇〇名
研究科 一カ年 五〇名
夜間部 六カ月 五〇名
（新設）月水金 月謝二百円
ドレメ式裁断教授
院長 千葉右近
平市三崎町（電七九一）
入学日 四月十日 締切日 四月五日
詳細は当院に御問合下さい

内科 産婦人科 性病科 外科（胃腸科） 整形外科 レントゲン科
前田清美
前田春雄
◎病室完備
石城郡植田町本町六三 電話植田一二四番
災害保険指定診療所
前田医院

洋食 生そば 寿し
出前迅速
食事のデパート
不二屋 電八八六

御進学・卒業の ★御贈答に★
家具は
ぜひ一度御来店の程をお待ちしております
専 チケット 御利用下さい
平銀座 電223 あるが

内科 小児外科 放射線科
（入院応需）
高久医院
平市田町（電五一三）

生徒募集
本科 一ケ年 二〇〇名
研究科 一ケ年 一〇〇名
速成科（夜間）六ケ月 五〇名
無試験入学（願書受付中書類詮衡）
公認平高等洋裁学院
平市一丁目角（電一三二六）
一、東京文化服装学院連鎖校
二、高等学校家庭科免許状授与指定校
入学案内進呈

平競輪
開催2周年記念
3月21.22.23.24.25.26日
花火合図．小雨決行